

テーマ

つながる力を育てよう

目標

子どもたちと保護者・地域の人々が、共同でより良い環境を作り出す作業を通して、子どもたちのつながる力を育てる。

今年度の取組紹介

今年度も「つながる力」をスローガンに、地域ぐるみの子育てを展開しました。前年度からどのようにつなげることが効果的なのか、コーディネーター会議や共育プロジェクト「響」を開催し、取り組みを進めました。「響」には、教職員も3回のうち最低1回は参加する体制をとりました。この結果、「学校」と「地域」双方にメリットを感じられる取り組みを実行しました。



このことは、伏見中学校を地域に知っていただく良い機会にもなりました。今年度は、次の4点について新しい取り組みを行いました。

- ・ 西大寺夏祭りの準備
- ・ 幼稚園に出向き保育の実習
- ・ あやめ池文化祭の出品
- ・ ギターマンドリンの高齢者集会への参加

これらの取り組みは、生徒が学校の中だけでなく、地域の中で生き生きと活動する様子を見ていただき伏見中学校の新しいイメージを創ることができました。

今年度のまとめ

コーディネーターを中心に、地域にとっても生徒にとっても「プラス」になる取り組みを模索する中で、地域との関係が活性化してきました。今年は、地域からお礼の手紙を頂いたり、地域から新しい事業の提案があったりして、ますます事業が活性化してきました。

お礼の手紙を紹介します。

「野神公園の清掃に参加していただいた伏見中学校の皆様、本当にありがとうございました。おかげさまで公園は見違えるように美しくなりました。呼びかけていただいた生徒会の方々、貴重な時間をさいて、たくさん参加された部活のメンバーの人々にありがたく感謝しております。」
このような地域の方々が少しでも多くなるように連携を深めていきたいと思えます。

来年度に向けて

この地域の生徒が、この地域を創っていくという基本的な考え方を共有しながら、よりよい地域連携の仕組みづくりを来年度も模索していきたいと思えます。そのためには、正しく中学校を知らせる取り組みと、正しく地域を理解する双方向の取り組みが必要です。地域の現状を理解し、どのように中学生が地域と連携できるのか、あらゆる機会に検討しながら、来年度は特に、この地域の伝統や文化を守る取り組みを推進していきたいと考えています。

テーマ

つながる力を育てよう

目標

みんなで、美しく誇りの持てる学校・地域を作り出し、人と人とのつながりを深め、地域と連携した生徒主体の取組の推進をする。

今年度の取組紹介

みんなで、美しく誇りの持てる学校・地域を作り出し、人と人とのつながりを深め、地域と連携した生徒主体の取組の推進を目指しました。地域と学校が協力したふれあい行事（ふれあい体育大会、ふれあい文化発表会、ふれあい美化作業）の開催をしました。また、地域と連携したキャリア教育やボランティア活動を実践しました。特に、図書館ボランティアが充実し、本の整理だけではなく、図書委員会との合同会議や合同作業をし、連携を深めました。本の読み聞かせ、コスモス読書会などにも広がりを見せました。そのような活動を通して、ボランティアの人と共に、さらに活気ある活動を広げていきたいと思えます。



今年度のまとめ

(1) 学校図書の充実

- ① 昼休みに、生徒図書委員と共に、生徒に本の貸し出しをしました
- ② ブックカバー掛け等の作業をしました
- ③ 生徒図書委員と共にポップ（本の宣伝文）を作成しました。
- ④ 絵本の読み聞かせをしました。

(2) 教育環境の充実

- ① ふれあい美化作業等で、校内、校外の清掃活動を実施しました。
- ② ふれあい文化発表会・ふれあい体育大会で校区に開かれた学校づくりを実践しました。

(3) 学習支援活動の充実

ケナフ栽培をして、紙作りの補助を行いました。

来年度に向けて

私たちの最大の願いは、「子どもたちが地域の中で見守られ、育まれながら、生き生きと楽しく学校に通って来る」ことです。子どもたちの取組を地域で支援しようという機運が高まり、学校が地域の信頼を得るために、あらゆる機会に学校や子どもたちを知ってもらおうという地道で根気強い取組を進めました。今後は、学校側のニーズと、ボランティアの思い・熱意の、きめ細かなすり合わせを行い、活動の明確化、活性化を図る必要があります。

テーマ

いきいきわくわく、Fパワー満タン

目標

伏見でふれ合い、学び、育つ伏見っ子

今年度の主な取組紹介

<伏見遺産学習>

1年を通して総合的な学習の時間に伏見遺産学習（伏見の人、物、歴史、文化を調べる）に取り組むことで、多くの人とふれ合い、伏見のよさを感じ取ることができました。西大寺、喜光寺、菅原天満宮の方々、地域の方々の思いに気づき、より一層郷土愛が深まりました。また、自分達の感じ取った郷土伏見のよさを多くのみんなに伝えるため「伏見遺産フェスタ」を開催しました。お世話になった地域の方々や伏見小学校の後輩達に自分たちの思いを伝えることができました。



6年伏見遺産フェスタ

<伏見まつり>



伏見まつり

「子供達の笑顔が地域を笑顔に」をスローガンに伏見小学校を会場として、伏見小学校 PTA、自治会・自主防犯防災協議会等の各種団体、伏見小学校が協力して開催しました。模擬店、放水訓練、鳩笛作り、車椅子体験等多くの体験をし、子供達は楽しい時間を過ごすことができました。また、計画や準備、当日の活動を通して、地域の方々同士の繋がりがより強くなりました。

今年度のまとめ

- ・ 上記以外にも、家庭科手縫い・ミシン縫い、理科体験授業、福祉体験、邦楽体験、地域遺産学習等で地域の教育力を活かし、子供達の生活に根ざした実践的な学習ができました。
- ・ 小さな一歩ではあるが、交流の集いで竹の演奏は、地域の方々と6年の児童の努力が成果として「能楽ホールでの演奏」という形になりました。
- ・ 交流給食・図工作品展、音楽会、伏見遺産フェスタ、世界遺産発表会、伏見まつり等で多くの地域の方々が来校され、学校の様子や児童の様子を見てもらうことができました。

来年度に向けて

- ・ 本事業の成果を目に見える形にして発信していくことが、次の活力につながりました。様々な成果を効果的に発信する場面や方法を考えていきたいと思えます。
- ・ 地域の行事に参加していても、その意識が低いです。古くから伝わる地域行事のように地域の中で子供達が担うべき役割を持ち、それを後輩に引き継ぐ体験をするようにしたいと思えます。

テーマ

出会いと体験から豊かな学びを

目標

地域の人とともに豊かな学びを支える価値ある体験活動に取り組む。

今年度の取組紹介

本校では、「出会いと体験から豊かな学びを～地域ぐるみの子育て～」をテーマに本事業に取り組んできました。そのテーマ通り年間を通じて地域の方々にたくさんの協力をいただき体験学習を深めてきました。地域の方々との関わりを深め、身近な地域から学ぶことで児童の内面を豊かにする価値ある活動にしていきたいと考えます。そしてあやめ池小学校・校区に誇りをもちあやめ池地域を大切にする子どもを育てていきたいと考えます。



「お話の会」では読書活動に支援をいただきました。読書活動の形態は一樣ではなく各教室に入っての朝読書時間の読み聞かせ、月一回の図書館での読み聞かせなどお話の世界に浸るすばらしさを教えていただきました。11月のオープンスクールでは今年度も授業の公開、教育講演会、作品展を行いました。子どもの学ぶ姿を通して本校が目指す教育の在り方を地域の方々にも理解していただくよい機会となりました。1年生は地域の高齢者の方々とは昔遊び交流をし、今ではあまり遊ぶことのない竹とんぼやお手玉等を体験しました。昔あそびの楽しさを感じ、地域の方々の温かさに触れることのできる体験学習となりました。さらにEM団子づくりやあやめ池文化祭への参加は今年度で三年目になります。年々家族で参加する人数も増え、地域の方々とのつながりが強くなってきたことを実感します。



今年度のまとめ

読書活動に力を入れている本校では、本を読む児童が多いのですが「お話の会」の方々の読み聞かせで、一層自ら本を手にする児童が増えました。3年生の花器づくりでは6名の講師の指導のもと思い思いの形の花器を熱心に作っていました。4年生は伝統工芸士の方々から書道で使う筆作りを教えていただき伝統文化にふれそのすばらしさを体験させていただきました。また、EM液投入、EM団子づくりでは目に見えてプールや蛙股池の浄化効果があり、子どもたちは自分たちの学校・地域の環境保全に関わることで地域を大切にしようとする意識を高めることができました。

来年度に向けて

学校・地域・家庭がさらに手を携えることで「地域ぐるみの子育て」をより推進しなければならないと考えます。地域の方々に学校に来ていただくだけでなく学校から積極的に地域に出て人々とともに活動することが大切です。学校は地域のニーズにもしっかりと応えていかなければなりません。子どもたちが自ら進んで地域と関わる意欲・態度を高める取組を推進することが今後の課題となります。

テーマ

つながる 広がる 心の和

目標

さまざまな体験を通して、児童の感性をゆさぶり、豊かな心を

今年度の取組紹介

- ・ 「能」体験及び鑑賞会（5年生）…日常では決して触れる事のない伝統文化を、実際に体験を通して肌で感じた後、15分ほどの演目を鑑賞させていただきました。しかも地域にお住いの世界遺産にも匹敵する荘厳な文化体験と鑑賞会でした。
- ・ 私の町のすてきな人（2年生）…地域に住んでいらっしゃる方で普段の様子からは優しく親切な人しか見えなかったが、実はもっと深い所で自分達にかかわって下さっているのを知ることができる大切な時間を演出していただきました。
- ・ 昔遊び体験（1年生）…今は、あまり精通している方がいらっしゃらなくなった昔から伝えられていた身近な昔遊びを、実際に子ども達の前で披露し、教えていただきました。聞いたり、映像で見たりして知ってはいたものの、自分達が触れてできた時の喜びは、授業が終わっても、静かに子ども達の心に響いていました。



「能」体験



町探検

今年度のまとめ

- ・ 上記以外に、5年生は地域に知られていないような「西北遺産」の発見や3年生の「西大寺見学」また6年生は世界遺産の溢れる「ならまち散策」など、わが町（市）を誇ることができる学習を地域在住の皆さんのご支援とご協力によって深めることができました。何より、身近に存在している、ありふれたようなものの中にこそ、伝統的なものが多いことに気付いた子ども達が多くなったように思われます。その姿や息づかいを、サポートして下さった皆さんが、肌で感じてくださったことが、ありがたく、学校としても喜ばしいことだと思います。

来年度に向けて

- ・ ただ、「与えられた教材」の中で活動している感は否めません。なぜなら、地域遺産であることは分かっている、自ら進んで地域行事に参加しようとする意欲が弱いからです。そこで来年度は「参加することが大切な地域理解」を中心に、この事業をさらに広く浸透し、深めていきたいと思ひます。そして、今年以上に地域からの支援を受けられるよう、啓発活動も進めていきたいと考えています。

テーマ

「いきいき・わくわく・のびのび伏見っ子」

目標

優しい心・思いやりの心・感動する心・地域を愛する心を育む。

今年度の取組紹介

【ABCで遊ぼう】

幼児たちが英語に親しみ興味をもてるような機会を設けた。ゲストティーチャーとして地域の方を招き、英語でのゲームや歌、絵本の読み聞かせなどを通して楽しくいきいきと活動できました。



回を重ねるごとに幼児たちの英語力もパワーアップし、簡単な自己紹介やあいさつなどを、自信をもってできるようになった。また、幼児たちからは「英語大好き！ABCの先生大好き！」といった言葉がたくさん聞かれ、人とかかわる嬉しさや、英語の魅力を十分に感じる事ができたようです。ゲストティーチャーが来られた時はその指示や言葉を聞き漏らすまいと静かに聞こうとする姿が見られ、まさに地域の教育力を生かした取組となりました。

【プラネタリウム・防災センターへの園外保育】



自然や科学に興味をもつと同時に安全への意識を高める取組の一貫として地域の方と共に奈良市教育センター内にあるプラネタリウムの見学と、防災センターでの災害疑似体験を行いました。幼児たちはドームいっぱい広がる様々な星座に興味深げに見入っていました。そして、宇宙の不思議や神秘を存分に味わい満足した様子でした。防災センターでは、地震や暴風、煙体験を行



い、自然災害の怖さを知っただけでなく、自分の命の大切さやその大切な命を守る方法についても学ぶことができました。同行された地域の方々からは、幼児の真剣な様子に「幼いなりによく考えていますね。」などといったお褒めの言葉をいただきました。また、災害時の避難の仕方について有意義なアドバイスもいただき、幼児たちの安全意識が一層深まったようでした。

この体験学習を今後の園での避難訓練や安全教育に生かしていけたらと思います。

今年度のまとめ

地域の方やゲストティーチャーの方々との触れ合いは、人と関わる楽しさや喜び、また人の温かみを感じることができ、有意義であったと思われま。さらに、蚕の飼育を通して、自分よりも小さく弱者に対するいたわりや優しさ、命をつなぐことの大切さを大きな感動をもって味わうことができました。このように、新しいことにチャレンジしたり発見したり、今まで知らなかったことを知ることで、「いきいき・わくわく・のびのび伏見っ子」というテーマに沿った貴重な体験となり、幼児たちの成長が感じられました。

来年度に向けて

幼稚園が地域の子育て支援センターとなるよう、今までの取組を基礎に、今後も園の取組や園児の学び・育ちなどを様々な方法で地域・保護者の方々に発信していきたいと思。また、園・保護者・地域が一体となって互いに協力し、連携を密にすることで、多くの方々に慕われ、愛されるそんな園づくりに努めていきたいと思。ます。

テーマ

園・家庭・地域 笑顔でつなごう手と心

目標

園・家庭・地域が互いに心を通わせ、みんなが育ち合う園づくり

今年度の取組紹介

◆ **ちびっ子探検隊**

- ・ 地域の方が隊長となり、毎月1回地域自然探検をしています。
幼児の安全確保と園教育への理解を深めてもらうため、年長児の保護者に数人ずつ参加してもらっています。

園の隣にある「子どもの森」や神社・小学校の裏庭・地域の公園や池などに出掛けて草花や木の実で遊んだり、池に沈む戦争中からある船の話を聞いたり、秋の七草を探したりして毎回、わくわくドキドキの体験となっています。

◆ **地域交流会（グランドゴルフ）**

- ・ 年に2回、地域の方とグランドゴルフを通してふれ合いを楽しんでいます。年少年長混合で5チームに分かれて、一人一人クラブの持ち方や打ち方を教えてもらいゴールをめざします。「まっすぐ打てたね。」など褒めてもらうことで得意気な笑顔を見せ、地域の方と喜び合うほほえましい姿が見られました。グランドゴルフの後は、和室で折り紙やあやとり・お手玉遊びをしたり、おやつを一緒に食べたりして、ゆったりした時間を過ごすことができました。



今年度のまとめ

- ◆ 「ちびっ子探検隊」では、地域の四季折々を目で見て足で歩く実体験を積むことで、いろいろな自然事象や自然物に興味や関心が高まり、親子で探検した場所に出掛けたり語らいが増えたりして、貴重な体験となりました。また、園でも友達と草相撲をしたり自然物を遊びに取り入れたりする姿が増えました。参加した保護者からも「子どもの頃に遊んだことを懐かしく思い出した。」「素晴らしい地域に住んでいることを誇りに思う。」と感想をいただき高評価と理解を得ています。
- ◆ 地域交流会は、カレーパーティー・味噌汁パーティーなどの収穫祭に招待したり、お話を聞かせていただいたり、ゲームを楽しんだりと計画的に実施しています。
幼児たちは、自分の住む地域に愛着を感じ、地域の方に見守られている安心感と感謝の気持ちが芽生え、人とかかわる力を身につけてきています。

来年度に向けて

- ◆ 今後も家庭や地域の方々とお話しながらつながりを通わせられるように、園教育への理解と協力を得ながら、地域の教育力を積極的に取り入れていきたいと思っております。

テーマ

「学ぶ」「活動する」「生き生き輝く」子ども

目標

地域・人との関わりの中で、意欲的な子を育てる

今年度の取組紹介

『サッカーを楽しもう』 ―地域のコーチに学ぶ―

定期的に地域のコーチにサッカーを教わっています。毎回ストレッチの体操で体をほぐし、ボール送りのゲームやいろんな走り方の練習などをしました。その後、サッカーのルールや遊び方などは試合の中で教わり、最初はボールを追いかけているだけで、ゴールすることができませんでしたが、体験を積み重ねるうちにルールも理解し、友達と力を合わせて頑張るようになりました。

ボールで遊ぶ楽しさを学び、好きな遊びの時間に自分達でサッカーやドッチボールなど、進んでとりくむようになってきました。毎回、行事参観（自由）なので、暑い日も寒い日も、子ども達が楽しんでいる様子を保護者の方も、熱心に参観されていました。



『自動車学校での親子交通安全教室』 ―地域の自動車学校で学ぶ―

地域の奈良自動車学校へ親子で歩いていき、園児はビデオを見ながらクイズ形式で楽しみながら交通ルールを教わりました。保護者は自転車のマナーや交通規則などを詳しくクイズも交えて学ばれました。その後園児達に大人気の着ぐるみのマッキー君と一緒に、校内の道路や横断歩道で実際に歩く練習をしたり、決められた範囲にテープが貼られ、その車の周りに園児が座るとドライバーは全く座っている園児が見えないという『死角の怖さ』に驚いたりして、沢山のことを学びました。その日の保護者からの感想や子ども達からのお礼のメッセージを大きな紙に貼り、自動車学校へ届けました。



今年度のまとめ

地域の方々や地域の自動車学校でいろんな方と関わる中で、沢山のことを教わり、子ども達は挑戦する楽しさや友達と協力すること、ルールやきまりを守ることの大切さを教わり、その体験が自信や規範意識につながり、主体的に自分達の生活に生かす姿が見られてきました。保護者からの感想は、サッカーでは、「回数を重ねる毎に、チームワークも出てきて、成長を感じました。」などの声がありました。交通安全教室では、「自転車運転のルールで知らなかったこともあって良かった」「死角も範囲が広く驚きました。子どもと一緒に安全に通園できるよう話し合いました。」等の感想が寄せられました。

来年度に向けて

地域や家庭、他校園、いろんな地域施設と連携して、体験活動を発展させていきます。